

平成 25 年度

公共下水道事業特別会計

主要施策成果の報告書

京都府 木津川市

目 次

決算の概要

平成25年度公共下水道事業特別会計 決算の概要

1. 決算規模・決算収支	1
2. 歳 入	2
3. 歳 出	3

決算の状況

公共下水道事業会計決算の状況

1. 歳 入	4
2. 歳 出	4

主要施策の成果

歳入の概要

1款 分担金及び負担金	5
2款 使用料及び手数料	5
3款 国庫支出金	6
4款 財産収入	6
5款 寄附金	6
6款 繰入金	7
7款 繰越金	7
8款 諸収入	7
9款 市債	8

歳出の概要

1款 総務費	9
2款 管理費	10
3款 事業費	11
4款 公債費	14

参考資料	15
------------	----

平成 25 年度 公共下水道事業特別会計 決算の概要

1. 決算規模・決算収支

(1) 決算規模

平成 25 年度の決算規模は、

歳入 2,124,760 千円 (前年度 2,366,352 千円)

歳出 2,109,239 千円 (前年度 2,337,123 千円)

となり、決算規模の対前年度比較は、歳入が 241,592 千円、10.2%の減、歳出が 227,884 千円、9.8%の減とそれぞれ前年度を下回った。

(2) 決算収支

* 実質収支

平成 25 年度の歳入歳出差引額（形式収支）は、15,521 千円で翌年度に繰越すべき財源はないため、実質収支の額も 15,521 千円となり、前年度より 5,283 千円、25.4%の減となった。

* 単年度収支

今年度の実質収支(15,521 千円)から前年度の実質収支を差し引いた単年度収支は、△5,283 千円となり、前年度より 6,286 千円、626.7%の減となった。

* 実質単年度収支

今年度の単年度収支（△5,283 千円）に基金の積立金（17 千円）を加えた実質単年度収支は、△5,266 千円となった。

2. 歳入

平成 25 年度の歳入総額は、2,124,760 千円となり、前年度と比較すると 241,592 千円、10.2%の減となった。歳入の概要は、次のとおりである。

- 1) 分担金及び負担金 旧加茂町の受益者負担金である。
収入実績はなく、前年度と同様である。なお、平成 25 年度において、調定額 1,524,960 円全額を不納欠損とした。
- 2) 使用料及び手数料 下水道使用料及び排水設備申請審査・検査等手数料である。
783,187,332 円、前年度と比較すると 15,396,377 円、2.0%の増となった。

下水道使用料	780,837,332 円
下水道手数料	2,350,000 円
- 3) 国庫支出金 下水道施設建設に要した費用の国庫負担分である。
224,000,000 円、前年度と比較すると 52,700,000 円、30.8%の増となった。
- 4) 財産収入 財政調整基金利子である。
16,680 円、前年度と比較すると 23 円、0.1%の減となった。
- 5) 寄附金 都市再生機構からの新市街地開発に係る寄附金である。
134,729,166 円、前年度と比較すると 45,680,245 円、51.3%の増となった。
- 6) 繰入金 一般会計からの繰入金である。
705,771,000 円、前年度と比較すると 94,162,000 円、11.8%の減となった。
- 7) 繰越金 前年度繰越金及び繰越明許費繰越金である。
29,229,009 円、前年度と比較すると 9,397,865 円、47.4%の増となった。

前年度繰越金	20,804,009 円
繰越明許費繰越金	8,425,000 円
- 8) 諸収入 預金利子等である。
26,526 円、前年度と比較すると 4,261 円、13.8%の減となった。

預金利子	5,116 円
雑収入	21,410 円
- 9) 市債 下水道施設建設に要した費用に係る長期債の借入である。
247,800,000 円、前年度と比較すると 270,600,000 円、52.2%の減となった。

長期債 地方公共団体金融機構	247,800,000 円
----------------	---------------

3. 歳 出

平成 25 年度の歳出総額は、2,109,239 千円となり、前年度と比較すると 227,884 千円、9.8%の減となった。歳出の概要は、次のとおりである。

- 1) 総務費 下水道課の庁費、流域下水道維持管理負担金、使用料徴収委託料、消費税等である。
548,992,150 円、前年度と比較すると 54,481,115 円、9.0%の減となった。
- 2) 管理費 加茂浄化センター、下水道管渠、マンホールポンプ等、下水道施設の維持管理費である。
113,146,432 円、前年度と比較すると 1,573,846 円、1.4%の減となった。
- 3) 事業費 公共下水道施設建設に要した費用及び流域下水道建設負担金である。
634,908,823 円、前年度と比較すると 128,924,390 円、25.5%の増となった。
- 4) 公債費 下水道事業債の元金及び利子の償還である。
812,190,862 円、前年度と比較すると 300,753,663 円、27.0%の減となった。

公共下水道事業特別会計 決算の状況

1. 歳 入

(単位:円)

項 目	平成25年度決算額 ①	平成24年度決算額 ②	増減 ①-②
分担金及び負担金	0	0	0
使用料及び手数料	783,187,332	767,790,955	15,396,377
国庫支出金	224,000,000	171,300,000	52,700,000
財産収入	16,680	16,703	△ 23
寄付金	134,729,166	89,048,921	45,680,245
繰入金	705,771,000	799,933,000	△ 94,162,000
繰越金	29,229,009	19,831,144	9,397,865
諸収入	26,526	30,787	△ 4,261
市債	247,800,000	518,400,000	△ 270,600,000
合 計	2,124,759,713	2,366,351,510	△ 241,591,797

2. 歳 出

項 目	平成25年度決算額 ①	平成24年度決算額 ②	増減 ①-②
総務費	548,992,150	603,473,265	△ 54,481,115
管理費	113,146,432	114,720,278	△ 1,573,846
事業費	634,908,823	505,984,433	128,924,390
公債費	812,190,862	1,112,944,525	△ 300,753,663
予備費	0	0	0
合 計	2,109,238,267	2,337,122,501	△ 227,884,234

主要施策の成果

歳入の概要

1 款 分担金及び負担金

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費	
1項 負担金	1,000	0	0	
	前年度決算額	0	前年度比増減額	0

収入実績はなく、前年度と同様である。平成 25 年度において、調定額 1,524,960 円全額を不納欠損した。

2 款 使用料及び手数料

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費	
1項 使用料	773,141,000	780,837,332	0	
	前年度決算額	765,936,655	前年度比増減額	14,900,677

下水道使用料 780,837,332 円は、普及面積拡大による水洗化世帯の増加及び収納率の向上により、前年度比 1.9%増となった。有収水量は、5,962,432 m³(前年度 5,874,189 m³ 1.5%増)となった。下水道財産占用料 7,320 円の収入があった。

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費	
2項 手数料	2,351,000	2,350,000	0	
	前年度決算額	1,854,300	前年度比増減額	495,700

排水設備申請審査及び検査手数料 641 件 2,335,000 円(前年度 566 件 1,704,000 円 37.0%増)。排水設備指定工事業者指定手数料【新規:1 件 15,000 円(前年度 10 件 150,000 円 90%減)。証明手数料:0 件 0 円(前年度 1 件 300 円 皆減)】。

3款 国庫支出金

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 国庫補助金	224,000,000	224,000,000	0
	前年度決算額	171,300,000	前年度比 増減額
			52,700,000

		本年度	前年度	増減率
事業費	木津川流域関連 公共下水道国庫補助金	33,000,000	36,000,000	8.3%減
	木津川上流流域関連 公共下水道国庫補助金	67,000,000	44,300,000	51.2%増
	木津中央地区 管渠布設事業費補助金	124,000,000	91,000,000	36.3%増

4款 財産収入

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 財産運用収入	17,000	16,680	0
	前年度決算額	16,703	前年度比 増減額
			△ 23

利子及び配当金として、財政調整基金利子 16,680 円の収入があった。

5款 寄附金

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 寄附金	142,214,000	134,729,166	7,485,000
	前年度決算額	89,048,921	前年度比 増減額
			45,680,245

開発にかかる都市再生機構からの寄附金 134,729,166 円の収入があった。

木津中央地区開発分 99,280,000 円
流域下水道建設事業分 35,449,166 円

6款 繰入金

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 一般会計繰入金	705,771,000	705,771,000	0
	前年度決算額	799,933,000	前年度比 増減額
			△ 94,162,000

一般会計からの繰入金である。

起債元金償還分	410,674千円(うち基準内繰入 336,544千円)
起債利子償還分	235,323千円(うち基準内繰入 235,323千円)
維持管理費分	32,135千円(うち基準内繰入 25,240千円)
建設改良費分	27,639千円
計	705,771千円(うち基準内繰入 597,107千円)

7款 繰越金

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 繰越金	29,229,000	29,229,009	0
	前年度決算額	19,831,144	前年度比 増減額
			9,397,865

前年度決算に伴う剰余金としての繰越金 20,804,009 円、繰越事業の財源としての繰越明許費繰越金 8,425,000 円である。

8款 諸収入

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 預金利子	5,000	5,116	0
	前年度決算額	20,117	前年度比 増減額
			△ 15,001

歳計現金預金利子として、5,116 円の収入があった。

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
2項 雑入	21,000	21,410	0
	前年度決算額	10,670	前年度比 増減額
			10,740

下水道台帳等のコピー代収入として、21,410円収入があった。

9款 市債

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費
1項 市債	247,800,000	247,800,000	0
	前年度決算額	518,400,000	前年度比 増減額
			△ 270,600,000

節	事業	起債額 (千円)	借入先 借入期間(うち据置)	利率
公共下水道 事業債	木津川流域関連公共下水道事業	72,237	地方公共団体金融機構 30年(5年)	1.4%
	木津川上流流域関連公共下水道事業	108,663	地方公共団体金融機構 30年(5年)	1.4%
	木津中央地区管渠布設事業	5,600	地方公共団体金融機構 30年(5年)	1.4%
	木津中央地区管渠布設事業(繰越分)	19,300	地方公共団体金融機構 30年(5年)	1.4%
流域下水道 事業債	木津川流域下水道建設事業	2,500	地方公共団体金融機構 30年(5年)	1.4%
	木津川上流流域下水道建設事業	39,500	地方公共団体金融機構 30年(5年)	1.4%

歳出の概要

1 款 総務費

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費	不用額
1項 総務管理費	551,953,000	548,992,150	0	2,960,850
	前年度決算額	603,473,265	前年度比増減額	△ 54,481,115

1 目 一般管理費

一般管理庶務事業費

25 年度決算額 85,571,674 円 24 年度決算額 76,166,075 円
(前年度比増減額 9,405,599 円)

一般管理庶務事業費として、使用料徴収事務委託料(51,755,687 円)、消費税(18,005,200 円)、非常勤嘱託職員人件費(2,842,019 円)、などを支出した。

職員給与費

25 年度決算額 62,805,085 円 24 年度決算額 67,421,179 円
(前年度比増減額 △4,616,094 円)

課長、課長補佐、庶務係、施設管理係、計 8 名の一般職の人件費である。

職員研修事業費

25 年度決算額 58,000 円 24 年度決算額 369,760 円
(前年度比増減額 △311,760 円)

日本下水道協会、日本下水道事業団等が主催する研修への参加に係る旅費及び負担金を支出した。平成 25 年度は、延べ 5 人が参加した。

下水道計画策定事業費

25 年度決算額 7,297,500 円 24 年度決算額 1,470,000 円
(前年度比増減額 5,827,500 円)

平成 24 年度からの繰越事業である。公共下水道事業全体計画変更に係る業務委託を行った。

各種負担金事業費

25 年度決算額 213,280 円 24 年度決算額 230,960 円
(前年度比増減額 △17,680 円)

日本下水道協会、京都府下水道協会会費及び流域下水道連絡協議会会費を支出した。

流域下水道維持管理事業費

25 年度決算額 391,152,638 円 24 年度決算額 455,402,478 円
(前年度比増減額 △64,249,840 円)

木津川流域下水道、木津川上流流域下水道に対する維持管理負担金を支出した。

2目 管渠管理費

管渠管理事業費

25年度決算額 11,352,565円 24年度決算額 13,848,573円
 (前年度比増減額 △2,496,008円)

整備済下水道管渠及びマンホールポンプ等の維持管理事業で、25年度の事業実施内容は、次のとおり。

光熱水費(MP電気代)	2,943,997円
施設修繕料	1,078,749円
その他需用費	42,379円
通信運搬費(MP電話代)	710,318円
下水道台帳管理等委託料	420,000円
MP維持管理業務委託料(33ヶ所)	2,859,150円
電波利用料(MP)	5,000円
土地賃借料	232,668円
管渠管理工事費	2,984,704円
下水道事業用原材料費	75,600円

3款 事業費

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費	不用額
1項 施設建設費	643,289,000	634,908,823	7,485,000	895,177
	前年度決算額	505,984,433	前年度比増減額	128,924,390

1目 公共下水道事業費

木津川流域関連公共下水道事業費

25年度決算額 117,202,877円 24年度決算額 120,399,359円
 (前年度比増減額 △3,196,482円)

山城地域の普及面積拡大を図るため、管渠布設工事等を行った。(整備面積 3.3ha)

職員の給料及び手当等	13,495,192円
その他事務費	1,599,285円
業務委託料	212,100円
支障物件等移設補償費	20,484,550円
公共下水道工事費	81,411,750円

山城処理分区舗装本復旧(25-1)工事 アスファルト舗装 A=2,552 m ²	10,267,950 円
山城処理分区舗装本復旧(25-2)工事 アスファルト舗装 A=1,615 m ²	6,792,450 円
綺田南処理分区管渠(25-1)工事 開削 φ200 L=329.0m	12,817,350 円
山城処理分区管渠(25-2)工事 開削 φ200 L=159.6m	8,057,700 円
山城処理分区管渠(25-3)工事 開削 φ200 L=511.4m	24,436,650 円
山城処理分区管渠(25-4)工事 開削 φ200 L=387.2m	19,039,650 円
山城地区地籍調査基準点(新点)設置委託 業務	212,110 円

木津川上流流域関連公共下水道事業費

25年度決算額	189,805,056 円	24年度決算額	162,822,472 円
(前年度比増減額)	26,982,584 円)		

木津地域のうち既成市街地の普及面積拡大を図るため、管渠布設工事等を行った。(整備面積 94.8ha)

職員の給料及び手当等	17,601,826 円
その他事務費	1,775,130 円
土地賃借料(工事期間中の仮設駐車場)	327,500 円
業務委託料	7,581,000 円
支障物件等移設補償費	13,330,250 円
公共下水道工事費	149,189,250 円
第5処理分区舗装本復旧工事 アスファルト舗装 A=3,918 m ²	15,493,800 円
宮ノ裏地区舗装本復旧工事(その6) アスファルト舗装 A=1,015 m ²	3,316,950 円
第1処理分区面整備工事(その3) 開削 φ200 L=198.9m	17,449,950 円
第5処理分区面整備工事(その17) 開削 φ200 L=368.8m	22,897,350 円
第6処理分区面整備工事(その11) 開削 φ200 L=798.4m	34,495,650 円
第6-1処理分区面整備工事(その12) 開削 φ200 L=755.3m	34,431,600 円
第7処理分区面整備工事(その12) 開削 φ200 L=188.9m	20,720,700 円
(その他) ます設置工事全7件	383,250 円
第7処理分区実施設計業務 設計 L=3,900m	7,140,000 円
第1処理分区実施設計修正業務	441,000 円

木津中央地区管渠布設事業費

25 年度決算額 248,200,414 円 24 年度決算額 185,002,396 円
(前年度比増減額 63,198,018 円)

木津中央地区内の公共下水道管渠布設工事を、開発者である都市機構に委託した。

事務費 200,414 円 (平成 24 年度から繰越)
工事委託料 248,000,000 円 (うち、平成 24 年度から繰越 192,000,000 円)

2目 流域下水道費

木津川流域下水道建設事業費

25 年度決算額 4,687,052 円 24 年度決算額 11,365,120 円
(前年度比増減額 △6,678,068 円)

木津川流域下水道の建設負担金を京都府に支払った。

また、木津川流域下水道建設費清算負担金を八幡市など 5 市 2 町に支払った。

木津川流域下水道建設事業負担金 2,621,498 円
木津川流域下水道建設費清算負担金 2,065,554 円

木津川上流流域下水道建設事業費

25 年度決算額 75,013,424 円 24 年度決算額 26,395,086 円
(前年度比増減額 48,618,338 円)

木津川上流流域下水道の建設負担金を京都府に支払った。

4款 公債費

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	繰越明許費	不用額
1項 公債費	812,192,000	812,190,862	0	1,138
	前年度決算額	1,112,944,525	前年度比増減額	△ 300,753,663

1目 元金

地方債償還元金

25年度決算額 571,720,621円 24年度決算額 845,667,815円
 (前年度比増減額 △273,947,194円)

前年度に行った繰上償還を今年度は行わなかったことにより、償還額が大幅に減額となった。

2目 利子

地方債償還利子

25年度決算額 240,470,241円 24年度決算額 267,276,710円
 (前年度比増減額 △26,806,469円)

借入先別の元金、利子償還額の内訳は、次のとおり。

(単位:円)

		元 金	利 子
定 時 償 還	財 政 融 資 資 金	256,905,662円	129,140,889円
	か ん ぽ 生 命	31,045,918円	15,635,444円
	地方公共団体金融機構	188,893,601円	88,733,733円
	市 中 銀 行 等	94,875,440円	6,960,175円
	小 計	571,720,621円	240,470,241円
合 計	571,720,621円	240,470,241円	

【参考資料】

平成 25 年度末の普及状況

(平成26年3月31日現在)

行政人口(人) (A)	処理区域内人口(人) (B)	処理区域面積(ha) (C)	水洗化人口(人) (D)	普及率(%) (B)／(A)	水洗化率(%) (D)／(B)
72,359	64,785	1,391.8	60,723	89.5	93.7

平成 25 年度 地方債償還明細(借入先別)

(単位:円)

借入先	平成24年度末 未償還元金	平成25年度 借入額	平成25年度 償還元金額	平成25年度末 未償還元金
財務省	5,447,282,441	0	256,905,662	5,190,376,779
日本郵政公社	562,764,373	0	31,045,918	531,718,455
地方公共団体 金融機構	4,309,946,829	247,800,000	188,893,601	4,368,853,228
市中銀行等	769,762,355	0	94,875,440	674,886,915
計	11,089,755,998	247,800,000	571,720,621	10,765,835,377